

<第165号>

事務局だより

平成29年1月10日発行

現在の会員数

合計 224名

(男性 153名)

(女性 71名)

□新年のご挨拶「社会貢献の一翼を担って」

玄関のしめ縄が外れて新年も10日を過ぎましたが、黒石市シルバー人材センター会員の皆様には、改めまして新年のご挨拶を申し上げます。今年の干支は酉年、神酉とも言われるようにお金（経済）が回ってくる縁起が良い年だとも言われております。

シルバー人材センターは、申し上げるまでもなく「自主・自立・共働・共助」の基本理念を掲げ、昭和61年に法政化されて30年が経過しましたが、当初は高齢者の職業、生活の充実、その他の福祉増進に役立てるためということで活動がスタートしました。

基本理念の中には、地域の高齢者が自主的に生活している地域と連携し、地域の活性化に繋げるため地域活動に積極的に参加し、生きがいの充実を図って行く事が柱となっています。しかし、少子高齢化が予想を超えるスピードで進展している現実には、シルバー年代と言われる人達の活躍（就業）がなければ成り立たなくなったことが顕在化しています。このことは、シルバー人材センターが請負でやってきた就業体系も派遣事業台頭で変化しており、正に受け手から担い手の“一億総活躍社会”を掲げる政府方針と相俟って益々重要視されています。

シルバー世代の活躍が増えている現実とは逆に、全国シルバー会員数の減少が続いている状況に歯止めをかけるべく、今年は一人でも多く働ける会員を取り込むことを目標に活動したいと思っております。

シルバー会員が若い人の下支え、社会貢献の一翼を担っていることを誇りにしながら、会員の皆さんと役職員・事務局が一体となって前進したいと思っております。どうか、会員の皆さんにはご健勝で活躍し、ご多幸で笑顔が溢れることを切望して新年のご挨拶と致します。

平成29年初春 理事長 村上 豊継

□除雪機操作講習会（大型ハンドローター式除雪機械）

除雪機械操作の知識と技術向上を図るため講習会を開催します。

当センターでは、除雪機械を使用した除排雪作業のほか、市の委託を受け、通勤通学路を確保するための歩道除雪作業を行っています。

機械を扱うことで、事故の発生リスクが高く、安全かつ正確な操作技術がもとめられる作業であることから実施します。また、機械操作を覚えたい方、これから機械除雪作業を希望したいなどの方は是非ご参加下さい。

日 時：平成29年1月18日（水）
午前9時30分～午前11時30分

場 所：東公園2号園駐車場

講 師：村上農機工業 村上 俊幸 氏

申込日：1月16日（月）までに電話でお申込下さい。

□就業希望者募集

※日直及び宿直業務を希望される方を募集します。

業務内容は、電話や来客の応対、施設の巡回などが主な内容となります。日直の場合午前8時頃から午後5時頃まで、宿直の場合は午後5時頃から翌朝の8時頃までとなります。就業先にもよるが1人での就業と、2人一組での就業体制になります。全てローテーション就業となることから月10日前後の就業が見込まれます。

※屋内清掃作業員を希望される方を募集します。

業務内容は、施設内のロビーやフロアー、トイレ等の清掃業務になります。1日あたり3時間前後と見込まれ複数でのローテーション就業となることから、おおよそ月10日前後と見込まれます。場所は追子野木地区になります。

なお、発注者側で別なところへも募集を出していることから、場合によっては募集が終了していることがあるかも知れませんが、まずはお問い合わせ下さい。

□理事長のつぶやき ～限りない夢を～

久しぶりに雪のない正月の元旦、私はNHK恒例の紅白終了後、地元の神社へ初詣。神社へ早く着いたので待っていた町内の中・高校生ら10数人と一緒に、平成28年から29年に日付が変わるのを待って参拝した。毎年の事だが家内安全や無病息災、シルバー人材センターの繁栄・安全を願って手を合わせた。

参拝して帰るとき、どこの寺か知らないが南の方から除夜の鐘が星空をつんざいて「ゴーン、ゴーン」と聞こえてきた。何故か身が引き締まる思いでシャキッとなったのだ。

帰る途中で今年は何か良い事がないか考えて見たが思いつかない。4日の仕事始めのとき、月刊シルバー人材センター2017年1月号を見てこれだと思ったのである。本当に驚き感心したので皆さんに紹介します。

「わがセンターここに人あり」という題で、現在もかくしゃくとして働いている一人の女性会員が掲載された。この人は愛知県大府市シルバー人材センター会員の土井潔子さん(98歳)でおそらく、日本のシルバー人材センターに所属する会員の中でも最高齢であることは間違いないだろう。その活動を追ってみると、月曜日から金曜日までの朝6時頃、約1キロ離れた自宅から自転車に乗って若い人のように颯爽とやって来る。雨の日は合羽を着て自転車でやって来る。愛知県の最高齢者だと紹介。就業現場は、市の中心部にある公園で有名人の別荘であった敷地を市が譲り受けて公園として整備。その管理や休憩所の掃除をしているというもので、緑に囲まれ時には鳥のさえずる声を聞きながら掃除しているという。

休憩を挟んで11時には仕事を終え、同じ公園内にある福社会館へ行って体をほぐし、風呂に入って疲れを取って帰宅。その一日のスケジュールが30年も続いている。

センター入会のきっかけは、昭和60年、大府市に住んでいる息子さん家族の元に身を寄せることになり、その時にシルバーへ入会したという。シルバーの職員から「自分の別荘だと思って毎日戸を開けて下

さい」と言われたことを覚えていて、自分の別荘だと思って戸を開けて清掃し、30年が過ぎたという。

土井さんは、平成28年度「エイジレス・ライフ実践事例」（内閣府）に選定された。本人曰く「30年間は苦勞というより、良い事ばかりだった。良い仲間恵まれ、かわいがってもらった。子どもの頃から体が丈夫で、大病もせずやってこれたのは幸せ者」だと。

また、今後もきれいな公園だねと言われるよう「とりあえず100歳まで頑張りたい。働けるうちは働いて、お迎えが来たらすぐに逝きたい」「お迎えが来るまで役に立ちたい」と語っている。頑張れ土井さんである。

正に恐るべし98歳。年があらたまったので今年は“白寿”を迎えるが、黒石市のシルバーの皆さんはどう思いますか？

誰が言ったか忘れたが、「禿頭の向こうには若者が知らない夢がある」、私も限らない夢？かもしれないが、土井さんにあやかって前向きに行けたらと思う年の始めである。

新春を迎え会員皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。
役職員一同、本年も宜しく願い致します。

理事 長	副 理 事 長	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	監 事	監 事	事 務 局 長	業 務 課 長	主 事	臨 時 職 員
村 上 豊 継	木 村 那 智 子	工 藤 武 裕	池 内 次 男	富 谷 允 老	佐 々 木 繁	今 野 清 英	葛 西 俊 逸	三 上 謙 二	大 平 誠 治	村 元 修	佐 藤 清 仁	石 岡 茉莉 奈	阿 保 文 子

発行 公益社団法人黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131